

(令和3年2月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	2月の総入荷量は、天候不順の影響等により、重要野菜であるばれいしょや玉ねぎ等の土物類が減少したため前年同月比で3%下回った。総取扱金額は、一部の品目において高騰したものの、総じて平年に比べて安値で推移し、前年同月並みであった。今後は、気温の上昇により潤沢な入荷となり、価格は平年を下回ることが予想される。 3月は、近郷野菜では、菜の花が最盛期を迎え、たけのこや木の芽の入荷が始まる。果実では、不知火やせとか等の中晩柑類のほか、いちご類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は5%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は寒波の影響等で不安定な入荷となり高値で推移したため23%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は4%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は需要が低かったため8%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は38%上回った。
果 実	果実全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は3%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は14%下回った。 いちご類の入荷量は好天により大玉傾向となったため前年同月比で13%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は天候不順により不安定な入荷となったため前年同月比で29%下回ったが、単価は下位等級品の割合が高かったため3%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	鹿児島，長崎，徳島を中心に滋賀，和歌山などからも入荷した。入荷量は好天により生育が早まったため前年同月比で7％上回ったが，単価は安値で推移した前年同月と比べて6％上回った。 鹿児島を中心に長崎，愛知，鳥取，熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は寒波の影響等で不安定な入荷となり高値で推移したため55％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	兵庫，長崎，茨城，滋賀，愛知などから入荷した。入荷量は前年同月比で4％上回り，単価は11％下回った。 愛知を中心に鹿児島，兵庫，大阪，滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6％下回り，単価は5％上回った。 京都，福岡を中心に茨城，滋賀，和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5％上回り，単価は12％下回った。 徳島，兵庫，熊本，長崎，愛媛などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため12％下回った。
【果菜類】 きゅうり なす	宮崎を中心に高知，徳島，滋賀，佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で11％上回り，単価は12％下回った。 高知，岡山などから入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。

とまと	熊本を中心に福岡，佐賀，三重，鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回ったが，単価は上中旬に安値で推移したため２２％下回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知，鹿児島，韓国，ニュージーランドなどからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は高値で推移した前年同月と比べて９％下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に鹿児島，長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回り，単価は１２３％上回った。
たまねぎ	北海道を中心に静岡，長崎，兵庫，中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り，単価は２２％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡，大分，香川，熊本からも入荷した。入荷量は前年同月比で7％上回り，単価は7％下回った。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は好天により生育順調であったため前年同月比で11％上回ったが，単価は大玉傾向であったため4％上回った。
不知火（デコポン）	和歌山を中心に愛媛，佐賀，福岡，香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6％下回り，単価は8％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で6％上回り，単価は16％下回った。
玉林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で3％上回ったが，単価は前年同月並みであった。
いちご	福岡，大分，熊本，佐賀，長崎などから入荷した。入荷量は好天により大玉傾向となったため前年同月比で13％上回ったが，単価は前年同月並みであった。
アールスメロン	静岡を中心にホンジュラス，オーストラリア，高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で41％下回り，単価は5％上回った。